

低コスト施業技術の現状と課題 ～再造林のさらなる促進に向けて

日 時：平成31年1月24日（木） 13:30～17:00（*受付 12:40～）
場 所：東京大学農学部（弥生キャンパス内） フードサイエンス棟
中島董一郎記念ホール（（都）文京区弥生1-1-1）
参加費：無料（事前申し込み不要）

プログラム

13:30～13:45

開会挨拶 田中 浩（森林研究・整備機構 研究担当理事）
矢野彰宏（林野庁森林整備部整備課長）
趣旨説明 梶本卓也（森林総合研究所東北支所長）

13:45～14:10

基調講演 長崎屋圭太（林野庁森林整備部整備課 造林間伐対策室長）

< 成果発表 >

14:10～16:20

- 1) 「充実種子選別機の開発」 松田 修（九州大学大学院理学研究院）
- 2) 「選別種子を利用したコンテナ苗生産」 原 真司（住友林業筑波研究所）
- 3) 「コンテナ苗の育苗技術の現状と課題」 飛田博順（森林総合研究所）
（休憩 15:10～15:20）
- 4) 「ワラビの混植による下刈り作業の軽減」 中村人史（山形県森林研究研修センター）
- 5) 「軽労化を目指した地存え・下刈り作業の機械化への取り組み」
渡辺一郎（北海道立総合研究機構林業試験場）
- 6) 「多様な下刈り省力手法と再造林の低コスト化」 八木橋 勉（森林総合研究所東北支所）

16:20～16:50

質疑・総合討論

16:50～17:00

講評 佐藤 明（プロジェクト専門PO、東京農業大学）
閉会

（司会進行）宇都木 玄（森林総研・林業生産技術研究担当研究ディレクター）

* 報告会の開始前（12:40～13:15）に、本プロジェクトで開発された充実種子選別装置の説明とデモを、受付近くで行いますので、是非ご参集下さい（担当：岩倉宗弘、（株）九州計測器）

